



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場取引所 東 大

上場会社名 内海造船株式会社

コード番号 7018 URL <http://www.naikaizosen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 弘行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 原 耕作

TEL 0845-27-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,198	△36.2	1,952	△50.5	1,794	△53.8	989	△38.6
24年3月期第2四半期	25,374	22.9	3,946	100.9	3,883	101.6	1,613	60.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 922百万円 (△42.6%) 24年3月期第2四半期 1,607百万円 (64.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	58.35	—
24年3月期第2四半期	95.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	33,613	9,354	27.8	551.59
24年3月期	41,673	8,686	20.8	512.17

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,354百万円 24年3月期 8,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において期末日を基準日として定めておりますので、四半期における配当は実施しておりません。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	△40.3	1,010	△73.8	910	△75.8	310	△69.6	18.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	22,530,000 株	24年3月期	22,530,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,571,130 株	24年3月期	5,570,517 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	16,959,416 株	24年3月期2Q	16,960,184 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、雇用情勢の改善等でアメリカ景気に緩やかな回復基調が見られたものの、長引く欧州諸国の債務問題による欧州諸国経済の低迷、これに伴う新興国経済の成長鈍化等の景気下振れリスクは多く、先行き不透明な状況が続きました。国内経済は、復興関連需要やエコカー補助金の経済政策効果を背景に持ち直しの動きが見られたものの、世界景気の回復の遅れによる輸出の低迷、円相場の高止まりの状況は変わらず、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、業務の効率化を進めるとともに、総力を挙げて徹底したコスト削減に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、161億98百万円（前年同四半期比36.2%減）、損益は、営業利益19億52百万円（前年同四半期比50.5%減）、経常利益17億94百万円（前年同四半期比53.8%減）、四半期純利益9億89百万円（前年同四半期比38.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	船舶事業				
売上高	15,961	236	16,198	—	16,198
セグメント利益 又は損失(△)	2,417	△6	2,410	△457	1,952

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

①船舶事業

新造船工事につきましては、新造船の大量竣工や世界経済の減速に伴う海運市況の低迷で、船舶過剰は解消されず、また、厳しい新造船船価に加え円高の長期化がコスト競争力を阻害する等、厳しい受注環境に晒される中、マーケットの需要を見ながら慎重に受注活動を行った結果、2隻受注しました。

改修船工事につきましても、海運市況の低迷や円高の煽りを受け修繕費用が節減される等、受注・採算面共に厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の船舶事業全体の業績につきましては、売上高159億61百万円、セグメント利益24億17百万円となりました。

また、受注残高につきましては、188億13百万円となりました。

②その他

陸上事業につきましては、公共、民間設備投資が、景気の先行き不透明感により伸び悩み、サービス事業につきましても、雇用情勢・所得環境の回復は鈍く個人消費が低迷する等、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2億36百万円、セグメント損失6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)	増減
総資産	41,673	33,613	△8,060
負債	32,986	24,258	△8,728
純資産	8,686	9,354	668

総資産は、前連結会計年度末の416億73百万円から80億60百万円減少し、336億13百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末の329億86百万円から87億28百万円減少し、242億58百万円となりました。これは主に、未払法人税等、支払手形及び買掛金、前受金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末の86億86百万円から6億68百万円増加し、93億54百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績につきましては、概ね計画通りに推移しております。そのため平成24年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,722	12,242
受取手形及び売掛金	13,831	5,750
商品	3	1
仕掛品	392	93
原材料及び貯蔵品	116	105
その他	3,904	2,115
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	27,963	20,300
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,762	2,671
構築物（純額）	1,302	1,261
機械装置及び運搬具（純額）	1,960	1,744
土地	4,474	4,528
その他（純額）	601	546
有形固定資産合計	11,101	10,752
無形固定資産		
その他	193	165
無形固定資産合計	193	165
投資その他の資産		
投資有価証券	1,738	1,691
その他	739	788
貸倒引当金	△64	△85
投資その他の資産合計	2,413	2,394
固定資産合計	13,709	13,312
資産合計	41,673	33,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,672	7,115
短期借入金	3,440	3,420
未払費用	1,118	869
未払法人税等	2,439	193
前受金	2,907	1,388
賞与引当金	508	388
工事損失引当金	4,768	4,034
その他の引当金	71	69
その他	1,627	509
流動負債合計	25,552	17,990
固定負債		
長期借入金	5,257	4,072
再評価に係る繰延税金負債	930	930
退職給付引当金	1,126	1,149
資産除去債務	62	63
その他の引当金	47	35
その他	9	15
固定負債合計	7,434	6,268
負債合計	32,986	24,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200	1,200
資本剰余金	672	672
利益剰余金	7,334	8,064
自己株式	△2,015	△2,015
株主資本合計	7,191	7,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	△23
土地再評価差額金	1,451	1,456
その他の包括利益累計額合計	1,495	1,432
純資産合計	8,686	9,354
負債純資産合計	41,673	33,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	25,374	16,198
売上原価	20,292	13,645
売上総利益	5,081	2,552
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	296	159
貸倒引当金繰入額	3	21
その他	834	418
販売費及び一般管理費合計	1,134	600
営業利益	3,946	1,952
営業外収益		
受取配当金	8	8
その他	5	3
営業外収益合計	14	11
営業外費用		
支払利息	56	51
為替差損	12	97
その他	8	21
営業外費用合計	77	170
経常利益	3,883	1,794
特別損失		
固定資産除却損	456	120
減損損失	506	—
特別損失合計	962	120
税金等調整前四半期純利益	2,920	1,673
法人税、住民税及び事業税	1,999	199
法人税等調整額	△692	484
法人税等合計	1,307	683
少数株主損益調整前四半期純利益	1,613	989
四半期純利益	1,613	989

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,613	989
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△5	△67
その他の包括利益合計	△5	△67
四半期包括利益	1,607	922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,607	922
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

平成25年3月期第2四半期決算の概要

1. 当第2四半期の業績について

当第2四半期は下表のとおり、前期に比べて、個別、連結とも減収減益の決算となった。

(百万円未満切捨て)

区 分			前第2四半期 (A)	当第2四半期 (B)	比 較 (B-A)
売 上 高	個 別 船 事 業	新造船	(12隻) 22,941	(13隻) 14,503	(1隻) Δ8,438
		改修船	(57隻) 2,034	(49隻) 1,347	(Δ8隻) Δ686
		その他	149	89	Δ59
		計	25,125	15,941	Δ9,183
連 結			25,374	16,198	Δ9,175

(注) 個別・連結売上高の減収要因は、新造船の船種の違い及び建造工程の関係から1隻当たりの売上高が減少したことによる。(売上隻数が1隻増加(12隻→13隻))

区 分			前第2四半期 (A)	当第2四半期 (B)	比 較 (B-A)
損	営 業 利 益	個 別	3,932	1,943	Δ1,989
		連 結	3,946	1,952	Δ1,994
益	経 常 利 益	個 別	3,869	1,784	Δ2,084
		連 結	3,883	1,794	Δ2,089
	四 半 期 純 利 益	個 別	1,609	985	Δ623
		連 結	1,613	989	Δ623

(注) 減益の要因は、上記理由により売上高が減少したことによる。

2. 船舶事業の受注状況について

新造船工事については、新造船の大量竣工や世界経済の減速に伴う海運市況の低迷で、船舶過剰は解消されず、また、厳しい新造船船面に加え円高の長期化がコスト競争力を阻害する等、厳しい受注環境に晒された。

改修船工事についても、海運市況の低迷や円高の煽りを受け修繕費用が節減される等、受注・採算面共に厳しい状況が続いた。

このような中、マーケットの需要を見ながら慎重に受注活動を行った結果、新造船2隻を受注し、受注残高は、188億13百万円となった。

3. 株主配当について

平成25年3月期は、1株当たり5円の期末配当を行う予定である。

4. 平成25年3月期の業績予想について

下表のとおり、通期業績については、概ね計画通りに推移している。そのため平成24年5月10日に公表した業績予想に変更はない。

(単位:百万円)

区 分	通期(予想)	
	個 別	連 結
売 上 高	28,000	28,500
営 業 利 益	1,000	1,010
経 常 利 益	900	910
当 期 純 利 益	300	310

(おわり)